

1996-97年度 RI テーマ

ルイス・ビセン・ジアイ
1996-97 RI 会長

III 築け未来を
行動力と先見の眼で III



第2560地区——吉田昭平
ガバナー——
会長——捧 賢一
会長エレクト——五十嵐 総一
副会長——細井 雄一
幹事——五十嵐 昭一
副幹事——佐野 勝栄
S A A——菊池 涉
副 S A A——山浦 日出夫

例会日——毎週水曜日 12:30~
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店内
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	78名中 54名
先々週出席率	94.74 %

ヴィジター

三条南より 永桶栄資さん

先週のメークアップ

7/13 新潟西へ 捧 賢一さん

7/15 三条南へ

榎本 勝さん、古沢富雄さん、
長谷川有美さん、藤田紘一さん、
樺山 仁さん、平原信行さん

7/16 三条北へ

五十嵐総一さん、高橋一夫さん、
金沢興宗さん、斎藤弘文さん、
佐藤 武さん、荻野保和さん、
高橋政志さん、林 光輝さん

会長挨拶 捧 賢一會長

先日、あるカー用品のメーカーの主催で「外国人特派員に聞く」というパネルディスカッションを聞きました。アメリカの記者、それからイギリス、メキシコ、東南アジアの記者が、最近の日本について話をしておりました。

まず彼らが驚いたことは、政治面で、自民党と社会党は全く政策が違い、あれだけ政策問題について論争し、激しくぶつかりあっていたのに、ある日を境に突然一緒になって行動をとり、何がなんだか分からなくなっているのは全く不思議なことです。メーデーに現職の総理大臣が出席するなど、とても外国では考えられません。

経済面でも、日本の大銀行が土地の地上げの加担をし、バクチを打つような経営の進め方はとても外国では考えられないことです。

それに、政府がどうなっているのか、分かりません。ミドリ十字の非加熱製剤のようなエイズの薬害問題についても、政府の対応に驚いています。

経済問題においても、アジアでは中国や東南アジアが経済成長率二桁と台頭しています。日本の経済発展は今まで世界の奇跡と言われ、注目され、アジアは日本をモデルに高度成長を遂げています。

その中で、経済的にはまだアメリカに匹敵する生産力を持ち、世界で有数の経済大国でありながら、政治的にも経済的

にも全く自信を失っています。これから先が思いやられる。もっとしっかりしていかないと大変なことになります。と言っておられました。

皆さん、いかがでしょうか。

幹事報告 五十嵐(昭)幹事

◎例会変更のお知らせ!

巻RC——7月18日(木)夜例会
PM 6:30~

◎三条市青少年育成センターより
青少年健全育成市民大会ご出席お礼状
がとどいております。

ニコニコBOX

五十嵐昭一さん

先週は初めての欠席をさせていただきました。久しぶりに五十嵐川のクリーン作戦に参加、終って青少年健全育成市民大会に参加致しました。

榎本 勝さん

7月6~12日迄北海道へ自衛隊北方機動大演習に自衛隊父兄会として25名を引率して激励に行ってきました。自衛隊員は皆感激して喜んでいただきました。



佐々木昌敏さん

梅雨が明けそうです。当地の景気好転を期待いたします。

佐野勝栄さん

日曜日、苗場山麓小松原湿原へ行ってきました。ヒメシャクナゲがかれんできれいでした。松谷さんにお世話になりました。

松縄 弘さん

岩井先生、卓話御苦労様です。

平原信行さん

岩井先生の卓話ごくろうさまです。

加藤紋次郎さん

岩井先生の卓話を楽しみに。



7月17日分

¥10,000

卓 話 岩井数央会員



趣味の話でもという依頼であるが、すべて中途半端でこれといって自慢できるものはない。

ただ、超常現象について昔から興味があり、沢山の本を読んでいた。その中から情報として二、三皆さんにお伝えしたい。

最初にコピーでお配りした「生きがい」についてふれてみたい。飯田史彦助教授の個人的な体験を相手に伝えることによって「生きがい」や「幸せ」について、あらためて問い合わせる人々が増えてきた。個人的な体験とは、「死後の生命」や「生まれ変わり」に関する近年の科学的成果の内容を知ったことであった。……以下はPAP研究部刊の「生きがいの創造」をご一読頂きたい。

北欧のアリストテレスといわれたスウェーデンボルグ

1688年ストックホルムで生まれ、9ヵ国語を自由にあやつり、科学、哲学、数学、医学、心理学などの学問の分野で150冊もの著作を残した大天才である。この彼が56才以降84才で死亡するまで生きながら靈界に自由に入りし、靈との交流を通して膨大な「靈界著述」を残した。我が国には、国際的な禅学者、禅僧であった鈴木大拙により紹介された。

これらの稀有の体験から導き出された答は、

「人間は肉体の死後にも生きている。私は生前に知りあった人物にも靈界で何人も会い、話す機会があった。これらの人々が一様に驚きを示して

いたのは自分達が肉体の死後にも、生前と同様に生き続けているという事実であった。」

「靈とかかわることは人間にとつて危険が多い。だから靈と人間は普通はかかわれないようになっている。」

眠れる予言者 エドガー・ケイシー

1877年3月18日ケンタッキー州に生れ、1945年、誠にユニークな一生を送って生涯を閉じた。

若い頃、のどの病気にかかって催眠療法を受けたのをキッカケにして自己催眠下で他人の病気の診断や治療の指示を行うようになり、大評判になった。

その医学的診断の的中率は極めて高く、生涯のリーディングは14,246件にも及び、その内容は医学的はもとより歴史的、宇宙論的、倫理宗教的とあらゆる分野にわたっている。

これらの情報はバージニアにあるARE（財団法人研究と啓発のための協会）に整理保存され、今尚、多くの病める人の救いとなっている。

エドガー・ケイシーはリーディングによって医師に見放されたような難病に苦しむ何千もの人々の命を救い、健康を回復させたが、最大の功績は、

人間が神の被造物であり各人が神性を宿した魂を持つこと。そして魂は成長のために何べんも地上界に生まれ変わること。そして、人間の終生

の事業とは自己の様々な人格的欠点の克服であり、魂の未熟さの矯正であること。

を、いくたのリーディングを通して我々に教えてくれたことである。

まさきかずみ 陰徳の実践者政木和三博士

1916年、兵庫県に生れ、大阪帝国大学で通信工学、精密工学を学び、実に医学部を経て大阪大学工学部センター長となり、現在は岡山の林原生物化学研究所参与である。

インスピレーションによる発明を得意としエレキギター、自動炊飯器、自動ドア等々、980件以上に及ぶが、すべて無償で利用してもらっている。

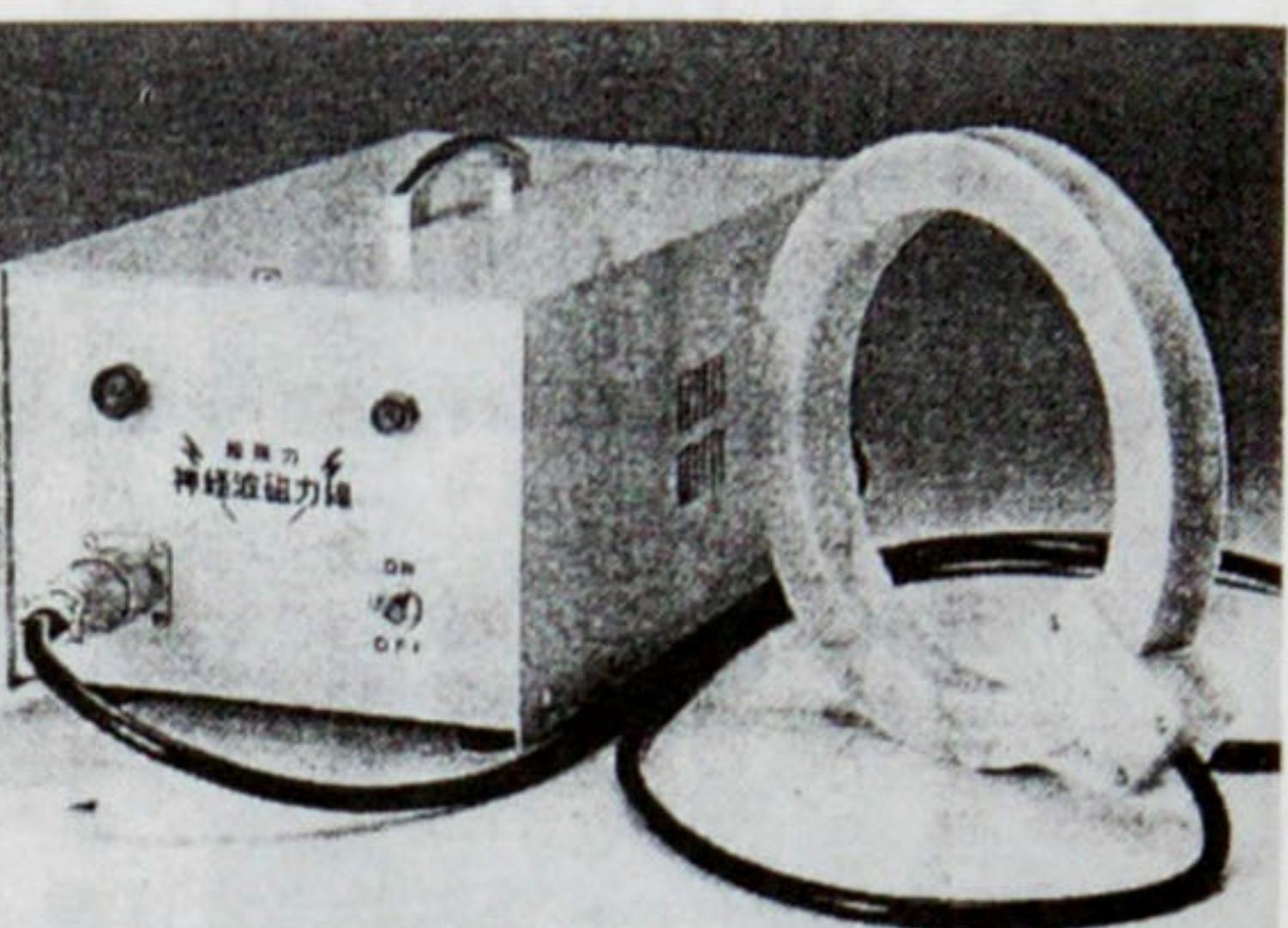
50才をすぎてから始めたゴルフでは自然落法などを開発し、1976年度、関西シニア選手権保持者となる。

1974年頃より超常現象の研究を行い、科学の力では証明できない不思議な力の存在を確信。さらにフーチパターンによる人間性測定法を発見し、現在精神世界の研究で日本の第一人者といわれている。

最近の発明である「神経波磁力線発生器」を紹介する。

人間の体は、約30ミクロンという小さな細胞が約60兆個集まってきており、一つ一つがどんな精密なコンピュータもかなわないほどのシステムを備えており、細胞はその周辺から必要な物質を取り入

■超強力神経波磁力線発生器



れ、分裂発生を繰り返しながら生命活動を営んでいる。

そこで弱っている細胞に神経波磁力線をあてると、細胞周辺の水の状態が変化する。

即ち細胞の中の水を負の状態にすることで、その水が周辺にある栄養分を吸収し、細胞の栄養が豊富になって悪い症状を癒すことになる。

このコイルを悪い所に毎日一時間あてると数回から2ヶ月の使用でいろいろの病気が治ったとの報告が数多く寄せられている。

もう一つは「アルファレータ」である。



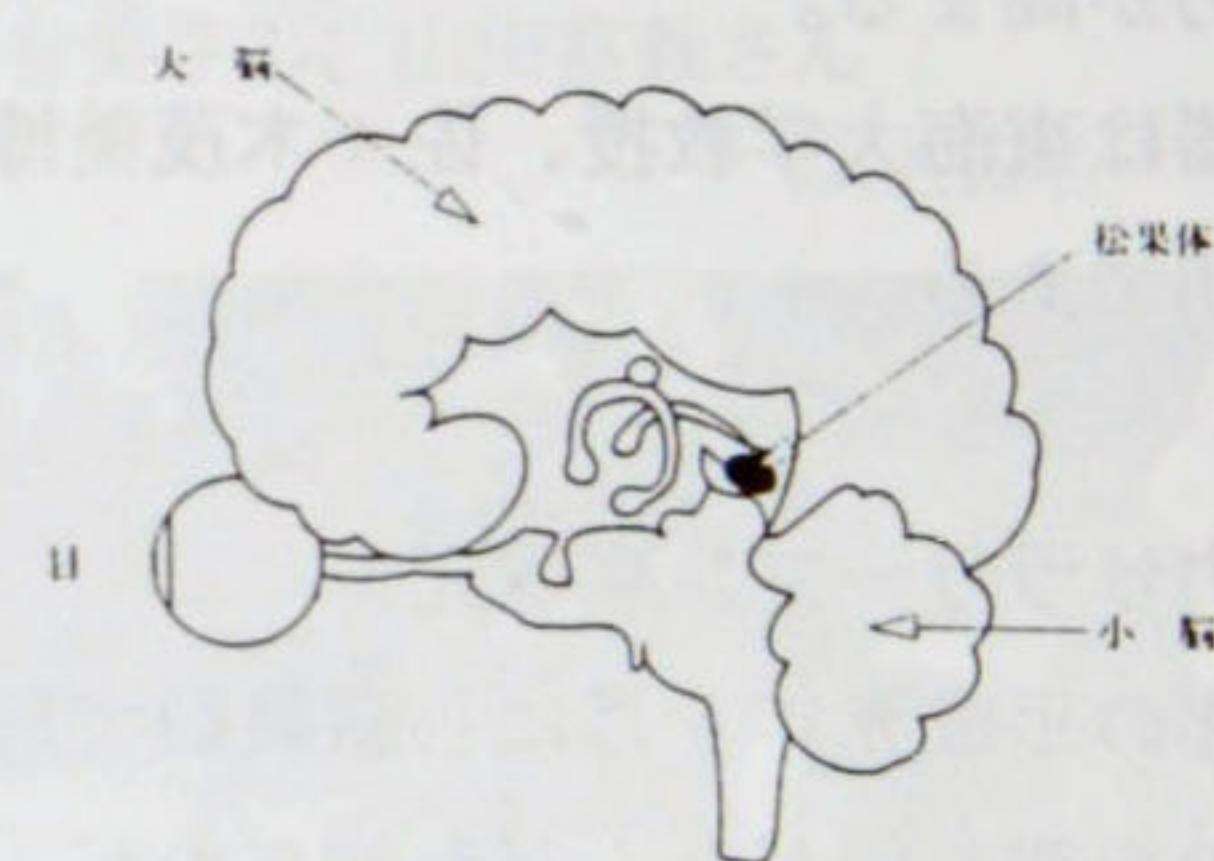
禪の高僧が瞑想したり、一流スポーツ

選手が素晴らしい成績を残すときは、 α 波と呼ばれる脳波が出ている。この α 波を思いのままに引き出せるようにしたのが本器です。

これを両耳に装着し、スイッチをオンにすると、なんとも心地よい「うなり音」が聞えてくる。これで右脳、左脳のバランスがとれ、アルファ波、シータ波が出易くなり潜在能力を引き出すことができる。

最近は企業研修の分野でも注目されている。

ダイオードリング「ディオラ」



人間の脳には「メラトニン」と呼ばれるホルモンを分泌している「松果体」という小さな円錐形の線がある。この「メラトニン」は人体のあらゆる器官、組織、細胞の基本的な生命リズムを決定し、老化とは「メラトニン」の分泌が減少にともなう現象とされている。

この「メラトニン」生成の敵としてクローズアップしてきたのが電磁波である。送電線、放送電波、TV、家電製品、コンピュータ等々すべて弱い電磁波を発生させている。

この電磁波が「メラトニン」の分泌を抑制することで間接的にガンの発生確率を高めている。



幸いにこの身体に悪い電磁波をダイオードの作用によって直流電流にかえる働きをもったリング「ディオラ」が開発された。

この発生した直流電流が「変動電場(気)」を生じさせ、「変動電場」が自律神経を刺激し、抹消血液の循環を良くし、その結果、細胞の活性化が促進され自然治療力が高まる。

本器は東海大学教授、佐々木茂美博士の発明である。

超能力サラリーマン高塚光

38才の平成元年6月に心臓破裂で危篤状態の母親を何がなんだか知らぬが「手かざし」で生還させた。

これが噂を呼んで脚光をあび、一日で約4万3千本の電話の呼数を記録したこともある。

平成6年、東映映画「超能力者、未知への旅人」で主人公高塚光を三浦友和が演じ、試乗会で映画をみて病気が治る人が大勢いて、高塚光自身、驚きであった。一流の財界人にも数多く接したが、経営者について感じたことは、

偉くなった揚げ句に体調を壊し、私のもとを訪れる人が後を絶たない。最も多いのは、社長や重役を退任した後に体が言うことを利かなくなるというケースである。

引退した翌日から寂寥感に襲われ、精神のバランスを一気に崩してしまう。社長の椅子から降りた者には誰も振り向きはしない。

椅子に座った人たちの共通点というと、これはもう執念の二文字につきると思う。そして執念に生きる人は良心を置き忘れる。良心に蓋をするといったほうが正解かも知れない。

五十嵐川クリーン　於 7月13日



7月13日 五十嵐川クリーン 出席者

五十嵐昭一さん、船越正夫さん、小越憲泰さん、小柳直人さん、古沢富雄さん、鈴木宗資さん、栗山淳一さん、平原信行さん、佐々木昌俊さん、佐原勇次郎さん、杉野奎司さん、金子俊郎さん、清水良一さん、丸山行彦さん、荻根沢隆雄さん、西山徳厚さん、松谷晃吉さん、長谷川有美さん、山田富義さん

以上19名





例会案内

三条RC 7月24日例会 卓話 クラブフォーラム

7月31日例会 卓話 渡辺弘栄会員 樋山 仁会員

メークアップをどうぞ

三条南RC 7月29日例会 卓話 佐藤英一会員

8月5日例会 卓話 中川堅一会員

三条北RC 7月30日例会 会員卓話

8月6日例会 会員卓話

燕RC 8月1日例会 納涼例会 PM 6:30~

8月8日例会 会員卓話

加茂RC 8月1日例会 クラブアッセンブリー

8月8日例会 クラブフォーラム

見附RC 8月1日例会 卓話 渋木真吉会員

8月8日例会 卓話 岩佐政由会員